

< N P O法人等の非農家等との連携を実施している事例 >

集落みんなで取り組む「地域づくり」

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山形県尾花沢市 <small>おばなざわし</small> 高橋 <small>たかはし</small>			
協定面積 79.3 ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 1,602 万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50 %)	担当者活動経費・研修会費・事務費等		14 %
		農地・水路・農道等の維持管理費		20 %
		多面的機能増進活動費		8 %
		体制整備に要する経費		3 %
	積立て (農道・水路整備用)		5 %	
協定参加者	農業者 58 人、非農業者 6人			

2. 取組に至る経緯

当地区は少子高齢化・後継者不足が進んでおり、ほとんどの農業者が60歳前後の兼業農家で、近い将来、農業経営の維持が困難になることが予想されることから、当地区の自然を次世代へ継承するために、これまで個々に活動していた18協定を二期対策から統合して協定を締結した。これにより、耕作放棄防止活動、水路・農道の維持管理・修繕活動を強化し、多面的機能増進活動や農業生産活動の体制整備を通して農業施設及び景観の保全、農作業の効率化さらには当地区の活性化を図ることとした。

3. 取組の内容

農業従事者の高齢化対策・農作業の効率化を狙い、共同作業（カメムシ防除・野鼠駆除）を行っている。さらに地域の活性化に貢献する目的で、景観作物を作付けしてフラワーロードの設置・管理や小学校と連携し「ちびっこ農園」の作付け・稲刈り・管理・収穫祭の補助等を実施している。

今後は、農業施設や農地等の保全、農作業の効率化なども共同活動にて実施し当地区の活性化を図ることとしている。



ちびっこ農園作業



フラワーロード作業

[集落の将来像]

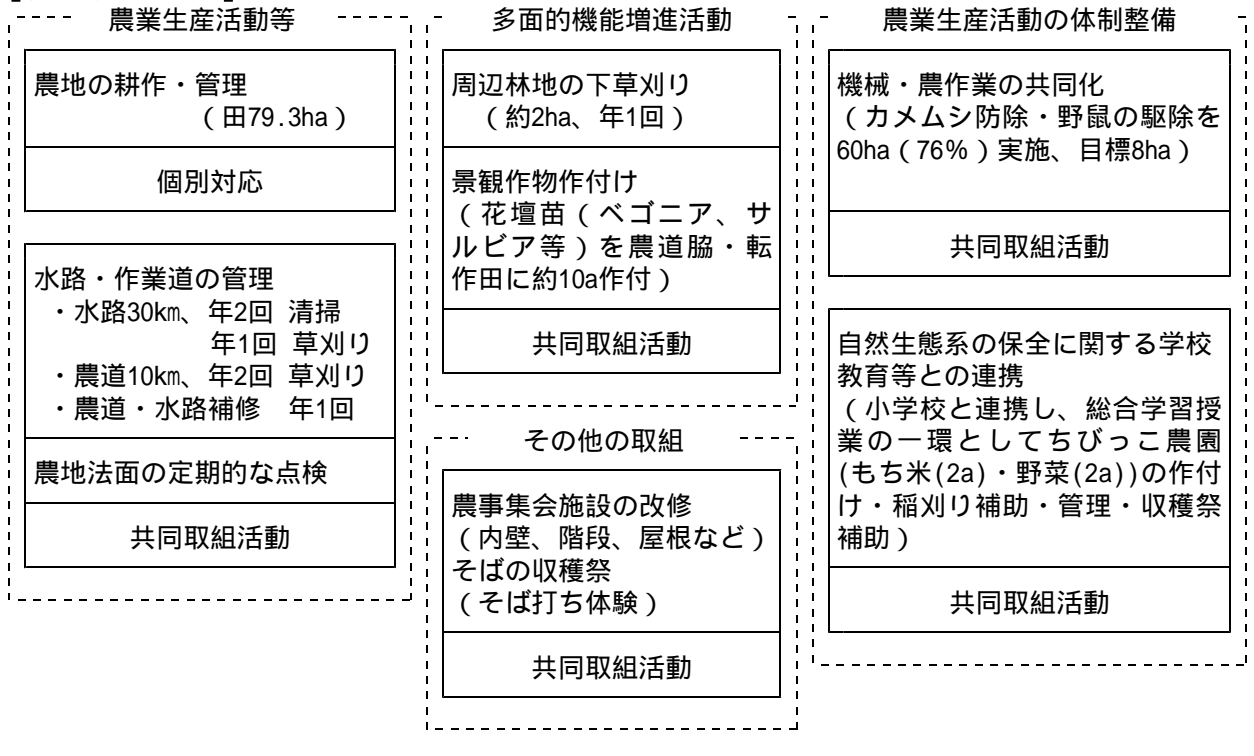
協定の統合を活かした集落のビジョンを作成し、担い手の育成や共同取組活動を強化して集落の活性化を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

- 農作業の共同化の推進
- 農地保全活動等の強化に向けた検討
- 景観整備等による地域活性化に向けた取組

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

一期対策での18協定を今回1協定にまとめたことにより、地域全体での農作業の効率化、耕作放棄防止、集落の活性化等が図られた。今後は、担い手の定着及び農作業の効率化のための共同取組活動を引き続き、行っていかなければならない。

[平成20年度までの主な成果]

- 農作業の共同化による作業の効率化(当初0ha、目標8ha、H20実績60ha)
- 学校教育等との連携による地域活性化
 - ・小学校と連携し「ちびっこ農園」(もち米)2a、(野菜)2a)の作付・稲刈、管理・収穫祭等の補助
- 景観づくりに向けた取組
 - ・景観作物の植栽・管理(10a)、また平成19年度にやまがたの棚田20選に認定され、農村景観づくりについて検討中
- 農事集会施設の改修(集落農業拠点の施設改修(内壁・階段・屋根))